

交通事故防止のPOINT

R7-④



歩行者の交通事故防止～道路横断時の事故防止～

前回の事故防止のポイント（R7-③）では、ドライバー目線で横断歩行者との事故についてその特徴を解説しました。そこで今回は、歩行者目線で道路横断時の事故防止について解説します。

※各データは令和2年～令和6年に愛知県内で発生した交通事故をもとに作成

歩行者死（傷）者の特徴①

道路横断中の事故が多発しています！

○死傷者の半数以上（52.3%）、死者の6割以上（64.9%）は、**道路横断中の事故**です！

○横断中死者の約6割が**横断歩道以外の場所**で衝突しています！

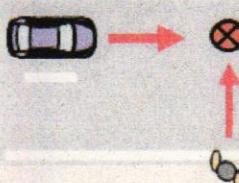
歩行者死（傷）者の特徴②

歩行者から見て

左から進行してくる車両

との死亡事故が多発しています。

左から来る車両



【歩行者死亡事故の進行方向別件数】

歩行者	相手	右から 来る車両	→差→	左から 来る車両	計
総件数		23	約3.8倍	87	110

※特に夜間はその傾向が顕著（4.5倍）になります！

※事故類型「横断中」かつ信号のない場所での死亡事故を抽出

★ 危険な横断例 ★

この横断の場合、どこが危険か考えてみましょう。

コンビニなど

ほんやり～



- ・横断前の確認のみで、その後は目的地（コンビニなど）ばかりを見ている。
- ・車は自分に気がついていると思っている。

ほんやり～



- ・渋滞車両で左から来る車が見えていない。
- ・左から車が来る可能性を考えていない。
- ・「今なら渡れる！」と焦っている。

ほんやり～



停止中

- ・止まってくれた車に申し訳なく思い、急いで渡ろうと思い、左を見ていない。
- ・左の車も止まってくれると思い込んでいる。

- ①近くに横断歩道がある場合は、必ず横断歩道を利用しましょう。
- ②左右の安全確認をしてから横断しましょう。（※少しでも迷ったら横断しない）
- ③遠くの車もあつという間に近づいてきます。横断途中にもう一度安全確認をしましょう。
- ④「ドライバーから自分は見えていない」と思って、横断を判断しましょう。



なんと人身事故の原因の約3割は、ドライバーの前方不注意なんです！

【原付以上第一当事者の人身事故件数と人的要因】

人的要因	件数	構成率
前方不注意	30,500	27.1%
それ以外	82,180	72.9%
総数	112,680	100.0%